

## 信用金庫の業務粗利益OHR（オーバーヘッドレシオ）の動向

信金中央金庫 地域・中小企業研究所 上席調査役

とね かずゆき  
刀襦 和之

（ポイント）

- 全国信用金庫の2013年度の業務粗利益OHRは、前期比1.69ポイント上昇（悪化）の73.56%となり、再び前期を上回った。2003年度（72.07%）と比べると、1.49ポイント上昇している。
- 2003年度からの変化を要因分解すると、分子の経費が5.3%の減少に対し、分母の業務粗利益は7.2%減少した。
- 2013年度の地区別の業務粗利益OHRは、南九州を除く10地区で前期比上昇した。2003年度と比べると、四国が13.35ポイント低下（改善）している。
- 信用金庫別の業務粗利益OHRは、前期比上昇が161金庫（構成比60.2%）、前期比低下は106金庫（39.7%）となった。低下した106金庫のうち、5ポイント超の低下は24金庫ある。
- 信用金庫別の業務粗利益OHRの分布は、①65%未満が35金庫（構成比13.1%）、②65%以上75%未満が83金庫（31.0%）、③75%以上85%未満が118金庫（44.1%）、④85%以上は31金庫（11.6%）であった。

### 1. 信用金庫の業務粗利益OHR

#### (1) 信用金庫の動向

全国信用金庫の2013年度の業務粗利益OHRは、前期比1.69ポイント上昇の73.56%となり、前期から再び悪化した（図表1）。

信用金庫の業務粗利益OHRは、2008年度を直近のピークに5年連続で70%台に位置する。

2003年度の水準（72.07%）と比較すると、1.49ポイントの上昇である。

#### (2) 要因分解

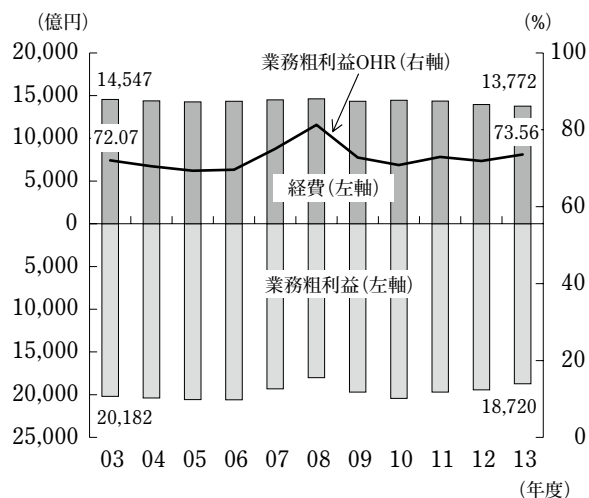
業務粗利益OHRを分子（経費）と分母（業務粗利益）に分解すると、2003年度から2013年度の間で経費は5.3%減少した。一方、分母の業務粗利益は7.2%減少しており、その結果、業務粗利益OHRの上昇に至った。

#### (3) 他業態の動向<sup>(注)</sup>

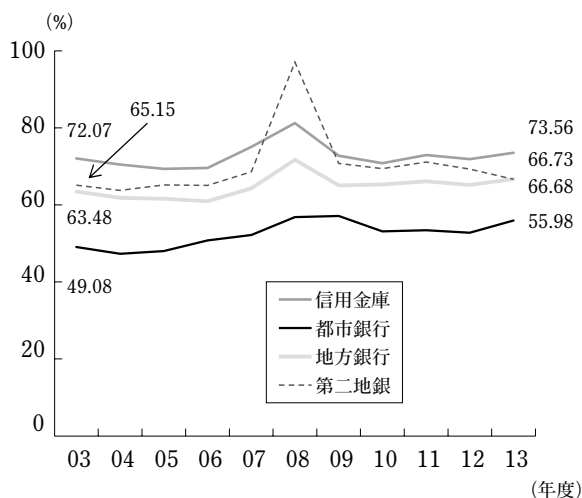
2013年度の他業態の業務粗利益OHRは、都市銀行が55.98%、地方銀行が66.73%、第

(注)．他業態は「全国銀行財務諸表分析」を参照

図表1 業務粗利益OHRの推移



図表2 業務粗利益OHRの推移(業態別、単体)



二地銀は66.68%となった(図表2)。第二地銀が前期から低下した一方で、信用金庫を含む3業態の業務粗利益OHRは前期比上昇した。

2003年度の水準と比較すると、都市銀行が6.90ポイント、地方銀行が3.25ポイント、第二地銀は1.53ポイント上昇している。単純に比較すると都市銀行の比率上昇が目立つ。

## 2. 地区別の業務粗利益OHR

2013年度の地区別の業務粗利益OHRは、四国が50.51%、北海道が68.02%と低く、他の9地区は70%台となった(図表3)。

前期と比べると、南九州を除く10地区で上昇した。南九州の低下は、業務粗利益の減

図表3 地区別の業務粗利益OHRの推移

(単位：%)

地区	03年度	12年度	13年度	対比		業務粗利益	経費	コア業務粗利益OHR	業務純益ROA
				03年度対比	12年度対比				
北海道	70.38	67.00	68.02	△ 2.36	1.02	1,015	690	71.47	0.45
東北	76.58	74.94	76.57	△ 0.01	1.63	764	585	80.00	0.33
東京	74.08	75.20	76.44	2.36	1.24	3,371	2,576	79.27	0.33
関東	70.51	73.00	73.86	3.35	0.86	3,619	2,673	76.99	0.38
北陸	76.62	73.15	76.73	0.11	3.58	523	402	79.68	0.32
東海	73.12	72.31	74.73	1.60	2.42	3,616	2,702	78.80	0.31
近畿	69.08	69.93	71.30	2.21	1.36	3,502	2,497	75.61	0.37
中国	73.58	75.35	77.08	3.50	1.72	911	702	79.79	0.33
四国	63.87	44.78	50.51	△ 13.35	5.73	506	255	66.27	0.81
九州北部	77.08	72.62	74.55	△ 2.53	1.92	381	284	77.52	0.42
南九州	74.91	79.54	78.96	4.04	△ 0.57	476	375	80.81	0.36
合計	72.07	71.87	73.56	1.48	1.69	18,720	13,772	77.44	0.36

(備考) 1. 他業態との合併等は考慮していない。  
 2. 対比は少数点第3位以下まで用いて計算後に第3位を切り捨てている。  
 3. 沖縄県は合計に含む。

少を経費削減額が上回ったことが要因である。前期比上昇した地区では、四国が5.73ポイント、北陸が3.58ポイント、それぞれ上昇している。

2003年度と比較すると、四国が13.35ポイント低下したほか、九州北部、北海道、東北で低下している。

### 3. 信用金庫別の業務粗利益OHR

#### (1) 前期からの変化

2013年度の信用金庫別の業務粗利益OHRは、前期比上昇が161金庫（構成比60.2%）、前期比低下は106金庫（39.7%）であった（図表4）。

前期比上昇した161金庫のうち、1ポイント超の上昇が135金庫（50.5%）、さらに5ポイント超の上昇は51金庫（19.1%）あった。

一方、前期比低下した106金庫のうち、5ポイント超の低下は24金庫（8.9%）となっ

た。これら24金庫の業務粗利益をみると全金庫で前期比増加、経費については10金庫で前期比減少している。

#### (2) 分布の変化

2013年度における信用金庫別の業務粗利益OHRの分布は、①60%未満が16金庫（構成比5.9%）、②60%以上70%未満が50金庫（18.7%）、③70%以上75%未満が52金庫（19.4%）、④75%以上80%未満が68金庫（25.4%）、⑤80%以上85%未満が50金庫（18.7%）、⑥85%以上は31金庫（11.6%）であった（図表5）。

2003年度の分布との変化をみると、55%未満が4金庫（構成比1.3%）から7金庫（2.6%）に増加した一方で、85%以上は31金庫（10.1%）から変わらず（31金庫、11.6%）となった。僅かずつだが信用金庫の間で収益力の2極化が進んでいる可能性もある。

図表4 信用金庫別の業務粗利益OHRの変化  
(12年度→13年度)

(単位：金庫、%)

増減状況	金庫	構成比
上 昇	161	60.2
(うち1ポイント超上昇)	135	50.5
(うち5ポイント超上昇)	51	19.1
変化なし	0	0.0
低 下	106	39.7
(うち1ポイント超低下)	75	28.0
(うち5ポイント超低下)	24	8.9
合 計	267	100.0

図表5 信用金庫別の業務粗利益OHRの分布

(金庫)

